

としまち研会報 第55号

おいらのまち

2012.1

発行 NPO都市住宅とまちづくり研究会 理事会

本年もどうぞよろしくお願ひいたします

東松島市復興まちづくり事業支援に取り組みます

昨年の東日本大震災から10カ月余が経過しました。被災地はガレキの撤去などが進んできているもののまだまだ復旧・復興への道のりは遠いという印象です。

としまち研東日本大震災復興支援委員会は、救援募金の一部を使って秋葉原で防災ラジオを購入し、昨年7月8日に東松島市の大曲小学校にお届けしました（おいらのまち第52号の1面の写真と3面の記事で既報）。

しかし、それとは別に東松島市の復興事業支援のお話があり、昨年11月から東松島市を訪問し、復興事業支援について協議してきました。

津波で大きな被害を受けた同市大曲浜地区などの復興事業は、万一、再び地震と津波が襲来したとしても、人命は助かり、その他の被害も最小限に抑えることのできる“まちの再生事業”となります。そのため集団移転や住宅再建に関する支援が必要とされている分野ですので、としまち研のこれまでの共同建替えやコーポラティブハウス事業における住まいやコミュニティの再生と構築に関する経験を大いに活かすことのできる業務内容になるものと思われまます。

また、今年になって東松島市主催の大曲浜地区の集団移転等説明会を傍聴し、被災者の皆さんの切実な質疑をお聞きし、かつ、主催者側から「2月からまちづくりの専門家集団であるNPO都市住宅とまちづくり研究会が意向確認などに訪問します」ということで、説明会参加者（毎日100人以上）の前で紹介されました。



復興支援小委員会の様子

防災ラジオを贈ったお話（大曲小学校：大曲浜地区の学区内）との直接のつながりではなく、たくさんの被災地があるなか、ピンポイントで東松島市大曲浜地区の復興事業のお手伝いができるというまったくの偶然ですが、不思議な“ご縁”を感じました。

被災者の皆さまが一日も早く落ち着いた生活を取り戻せるよう精いっぱい取り組んでいきたいと思っています。（としまち研理事長 杉山昇）



荒涼とした大曲浜地区の様子

おいらのひとりごと

『おいらのひとりごと』はとしまち研会員による、リレー形式のエッセイです。

『ロングトレイルの夢』 としまち研 宮本愛

無心になって黙々とすることが好きである。山登りに行っても、何時間も黙々と歩いていることが多い。時折、ぱっと景色が開けたり、高山植物に目が留まったりして、思い出したようにカメラを取り出すこともあるが、大抵は、脇目も振らずにひたすら歩いている。頭をからっぽにして、自然の中をただ歩くことに身を委ねているのが心地良い。

そんな中、いつかチャレンジしたいと思っているのが海外のロングトレイルである。ロングトレイルは数百キロから数千キロに及ぶ長大な自然遊歩道で、一気に踏破するのに半年ほどかかるものもある。狙っているのはニュージーランド。国としても力を入れているらしく、3~4日で踏破できる景色のすばらしいトレイルがいくつもある模様。衣食住を担いで、見渡す限りの自然の中を歩いてみたいと思う（ただしテントと食糧の大半は夫担当）。映画『ロード・オブ・ザ・リング』の風景を想像しながら、まずは体力づくりです。

※次号の「ひとりごと」は森田寛さんです。お楽しみに。

一木会ご報告（原則、毎月第一木曜日に COMS HOUSE で行う勉強会・交流会です）

★第196回一木会（2011. 12. 8）

一木会では10回目となる古今亭駿菊師匠の年末恒例の落語でした。

50人超が参加し、「宿屋の富」という富くじネタで大爆笑。その後の忘年会も駿菊師匠を中心に盛り上がり、また、来年の年の瀬に再会を約束しました。



その後の忘年会にも多数の方にご参加いただき、貸切にしていた中華料理屋さんの席が足りず、立ち飲みの方も出てしまうほど大盛況で年末を締めくくることができました。

★第197回一木会（2012. 1. 12）

農業生産法人なないろ畑株式会社代表取締役の片柳義春さんに、有機野菜とCSA（コミュニティ・サポート・アグリ加チャ）運動、反原発の活動などお話をいただきました。



消費者が直接支えるという「消費者による共同オーナー制の有機栽培農場」のお話はとても印象的でした。片柳さんが有機栽培のキャベツ・人参・大根・かぼちゃなどを持ってきてくださり、懇親会で本物の有機野菜の美味しさを堪能しました。

今後の一木会予定

★2月（2月2日）【第198回一木会】★

農事組合法人フタバフルーツランド 代表理事の大塚憲さん 『福島第一原発内で3. 11震災を経験して』

★3月（3月1日）【第199回一木会】★

株式会社象地域設計 相談役の三浦史郎さん 『(仮題) 建築とまちづくりの45年』

（仮称）九段南コーポラティブハウスⅡの参加者募集が始まります

千代田区九段南2丁目で、「坂の上テラス」に続き2棟目となる「（仮称）九段南コーポラティブハウスⅡ」の参加者募集を2月から始めることになりました。

計画地は、坂の上テラスと同じ靖国通りに面するとともに内堀通りにも面しており、九段下駅（東京メトロ東西線・半蔵門線、都営地下鉄新宿線）から武道館の前を歩いて徒歩5分という立地です。市ヶ谷駅にも徒歩10分強程度でアクセスできます。

敷地の現況は、プレハブ小屋が置いてある空地（計画地看板が立っています）と4階建の店舗・住居が建っています。

事業手法は、地権者参加型のコーポラティブ方式ですので、完成後は、靖国通り側の1階に雑貨屋さんとペットショップが入居し、内堀通り側が住宅の入口となります。12階建で、1フロア2住戸が基本となり、募集住戸の広さは約67㎡～約85㎡ですが、最上階には約103㎡のメゾネット住戸が計画されています。共用部分の特徴としては、1階に会議室、屋上は一部太陽光発電を設置して共用部の電気の一部をまかなう予定にしています。

昨年の東日本大震災から10ヶ月余が経ちましたが、あの震災で日常の人と人とのつながりの大切さを痛感された方が多いものと思います。コーポラティブハウスは建物の安全性はもちろんのこと、建物内のコミュニティ、地域コミュニティの大切さを実感できる仕組みです。

また、徒歩2分のところにある九段南2丁目第1号のコーポラティブハウス「坂の上テラス」の管理組合の定期総会（第3回、2012年1月8日実施）では、新しいコーポラティブハウスに入居される皆さんと合同イベントを企画したいというお話も出て、心待ちにしているようです。

お住まいを探しておられるお知り合いの方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

（としまち研事務局 飛澤玲奈）



完成予想パース

奥澤コーポラティブハウスの忘年会

昨年12月3日(土)に自由が丘の居酒屋で、理事会主催の奥澤コーポラティブハウス建設組合の忘年会を行いました。

当日は、すこし寒い夜でしたが、組合員のみなさんや事業スタッフ等、合計24の方が参加されました。

谷岡理事長の挨拶に続き、統括設計者である村尾さんの乾杯の音頭で、おいしい料理とお酒での宴会が始まりました。途中、酔われた方々があちらこちらと席を移動しながら歓談し、大いに盛り上がった中で、恒例の一分間スピーチに入りました。



理事長あいさつの様子

建設組合ができてから1年が過ぎ、その間の総会や委員会活動、内装設計の打ち合わせ等を通じて組合員・事業スタッフ相互に、より近くなったこともあり、スピーチの内容は、コーポラティブハウスに対する思い入れや、これまでのご自身のこと、事業スタッフや工事担当者への励まし等、率直で心温まるお話が多く、聞いていて、ジーンと来ることが度々でした。また一歩、お互いの距離が縮まった思いのする忘年会でした。

建設工事も基礎部分が終わり、これから、いよいよ鉄骨建て方が始まります。
(としまち研理事 市野恵司)

こはす 植栽設置、内装確認検査を終えて

1月14日(土)、こはす(コーポラティブハウス神田東松下町パート3)の植栽委員会、住まう方々、そして関係者の方々皆で、ブリッジへのヘデラを植えたプランターの設置を行いました。天気は晴れ。少し寒く感じた日でしたが、ご指導が良かったのか皆さんテキパキとプランターに土、ヘデラ、土、ヘデラ、あっという間に48鉢の出来上がり！子供さん達も大人を真似てなかなかの手つきでプランターを仕上げていました。さあ！次はブリッジへの設置。



プランター植栽をつくってます

これもなかなか、二手に分かれ足場など悪い所があるにもかかわらずスイスイと設置してしまいました。こはすの皆さんは知り合っただけこれ2年になりますが、それ以上のチームワークがあるなあ！と、感じた日でした。



共用部検査の様子

そして本日もう一つ、私事ですが内装確認検査があり、今まで凶面上と頭の中でイメージしていたものが今日現実になっているかとてもドキドキでした。我が家に入って見ると、どうでしょう！イメージ以上の出来栄で違うドキドキにかわりました。正直、職人さんが期日に追われ夜遅く迄残業して10階にもなると、仕事が雑になり手抜き気味になるのではないかと心配していました。妻と子供達は、初めて我が家を見学し、早く引っ越したいっ！気に入った！と寝転がったりおおはしゃぎ。これも、こはすに携わっている方々のおかげだと再確認しています。あともう少しの完成までの間よろしくお願ひします。

(コーポラティブハウス神田東松下町パート3建設組合 堀内勝彦)

ロイアルー番町『みんなで建物診断』開催

1月14日(土)、冬晴れの中、ロイアルー番町(築27年57戸、千代田区)で『みんなで建物診断』が開催されました。

としまち研は、昨年10月より、同マンションの第二次大規模修繕工事のコンサルタントを受託し、工事の実施に向け、理事会とともに住民アンケート等に取り組んできました。

当日は、昨年12月に行った建物診断結果を報告し、その後、屋上から実際に1時間半ほどかけて建物をみてまわりました。住民の人数は多くありませんでしたが、理事以外の初めて会う方同士、挨拶も交えながら和気あいあいと進みました。建物の状況、必要な修繕情報等を共有し、今後は修繕仕様の検討を行います。修繕のほか、車椅子の方などが出入りしやすいよう、エントランス入り口の段差を解消することも検討予定です。



タイルの付着力検査をしています

(としまち研事務局 五十嵐敦子)

としまち研掲示板

△▼△としまち研 各部会の次回開催予定△▼△

共同建替え部会	1月 31日(火)
コーポラティブ住宅部会	1月 30日(水)
団地・マンション再生部会	2月 13日(月)
福祉部会	2月 21日(火)
総務部会	
広報部会	

としまち研会員の方であれば誰でも部会に参加できますので、是非ご参加ください。

☆進行中のプロジェクトニュース☆

・こはす

(コーポラティブハウス神田東松下町パート3)

もう間もなく引渡しです。

1/21(土)組合員による共用部検査が行われました。

・奥澤コーポラティブハウス

いよいよ鉄骨が建ち始めます。

引き続き参加者(入居希望者)の募集を行っています。どなたかお知り合いの方がいらっしゃいましたらご紹介ください。

・東日本大震災復興支援委員会

1/12(木)~17(火)に開催された東松島市大曲浜地区の住民説明会に理事を中心に参加しました。今後、住民のみなさんへの意向調査が始まります。としまち研会員でご協力いただける方は、事務局までご連絡ください。

・としまち研忘年会

昨年の12/22(木)にとしまち研忘年会を開催し、30名の方が参加されました。恒例の1分間スピーチでは、皆さん昨年の反省と今年の抱負で盛り上がりました。



ワイワイガヤガヤ

・韓国仁川(インチョン)から視察団

韓国から仁川発展研究院のみなさんが、日本のコーポラティブハウスの事例研究のため、視察に見えました。東松下町のCOMS HOUSE・桜



仁川からの視察団:宝来屋にてハウス・こはす、坂の上テラス、Jコートハウスをご案内しました。

としまち研会員募集

としまち研では、活動に参加して下さる方(正会員)や活動を応援して下さる方(賛助会員)を募集しています。

詳しくはとしまち研のホームページをご覧ください。

まちづくりのご相談は事務局へ

- 借入金があるが何か建替えの方法はあるか。
 - お隣りも建替えを考えているようだが共同建替えは自分たちでは調整できない。
 - というような難しいご相談も検討します。
- お気軽にご相談ください。

編集後記

本年もどうぞよろしくお願いいたします。ということで記念すべき30号(55号)でスタートです。先日、坂の上テラスでは定期総会が行われました。あっという間に2年が経ち、3期目の理事会は建設組合での理事の経験がない理事だけで構成されます。2期目の理事さんからは、「自主管理の何が大変かって、一番大変なことは総会資料の準備でした。」というお話をしていました。でも、とにもかくにも坂の上テラスの皆さんの自主管理能力は素晴らしい!管理組合の結束力が素晴らしい! (事務局 飛澤)

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町 33 COMS HOUSE 2階
tel 03-5207-6277 fax 03-5294-7326
E-mail info@tmk-web.com ホームページ http://www.tmk-web.com/
皆さまからのご意見、ご感想をお待ちしております。

としまち研現在の会員数
正会員 53人 賛助会員 34人
編集発行人 比護彰彦
事務局担当 飛澤玲奈

